

松阪まちなか再生プラン

『食』を感じよう！ 『歴史』を温めよう！！

そして、『人の心』をつなげよう！！！！

～ *Feel food Heat history and Link love* ～



平成22年 3月

松 阪 市



目 次

1. はじめに	1
2. 再生プラン作成への取り組み	2
3. 中心市街地の範囲およびゾーニング	3
4. 中心市街地の再生に向けた考え方	4
5. 再生に向けての理念と基本目標	5
6. 再生に向けての方針および施策	6
6.1 《歴史》 “氏郷” と “豪商” のまちを語り継ぐ	6
6.2 《商》 来て・見て・買って 21 世紀の「楽市楽座」	16
6.3 《食》 日本一のグルメタウンを感じよう	22
6.4 《住》 人の和が広がるスマイルタウン	25
6.5 《駅周辺》 出会い・ふれあい “松阪駅”	29
7. 施策の実行に向けて	34

1. はじめに

「松阪まちなか再生プラン」は、中心市街地のまちづくりを進めるために、市民、事業者、各種団体、行政等が、“みんなで考え、みんなで作る”まちづくり指針として、3年間を目途に実施するアクションプランです。

今後、「松阪まちなか再生プラン」をもとに、市民の皆さまの積極的なまちづくりへの参加を促し、早期実現可能なものから実施して行きます。

《これまでの取り組み》

松阪駅を中心とした中心市街地では、空き店舗や空き家の増加、大型店の閉店、郊外への人口の流出や高齢化の進展、交通量の減少などの空洞化と衰退が進んでおり、かつての賑わいを失った今、その活力を取り戻すことが最大の課題となっています。

〔平成 19 年度〕

平成 19 年 5 月には、市民アンケート調査を実施するとともに、同年 8 月には、学識経験者、商店街、まちづくり団体、民間企業、住民、商工会議所、松阪市等で構成する「松阪市中心市街地活性化検討会」を立ち上げ、住民討論会も開催する中で、松阪駅を中心とした区域の中長期ビジョンを示した「松阪市中心市街地活性化骨子案（平成 20 年 2 月）」を作成しました。

一方、中心市街地では、「松阪まちなか街づくりネットワーク」や「松阪市商店街連合会」「おかみさんの会」等による、地域イベントなど様々な活性化への取り組みが行われています。また、平成 20 年 2 月には「松阪駅西地区市街地再開発事業」の都市計画決定を行い、事業推進を図ってきました。

〔平成 20 年度〕

中心市街地活性化法に基づく認定基本計画の策定を目指して、「松阪市中心市街地活性化基本計画策定委員会」を設置し、松阪商工会議所が中心となって組織する「松阪市中心市街地活性化実行委員会」等の意見を踏まえたうえで、作業を進めてきました。

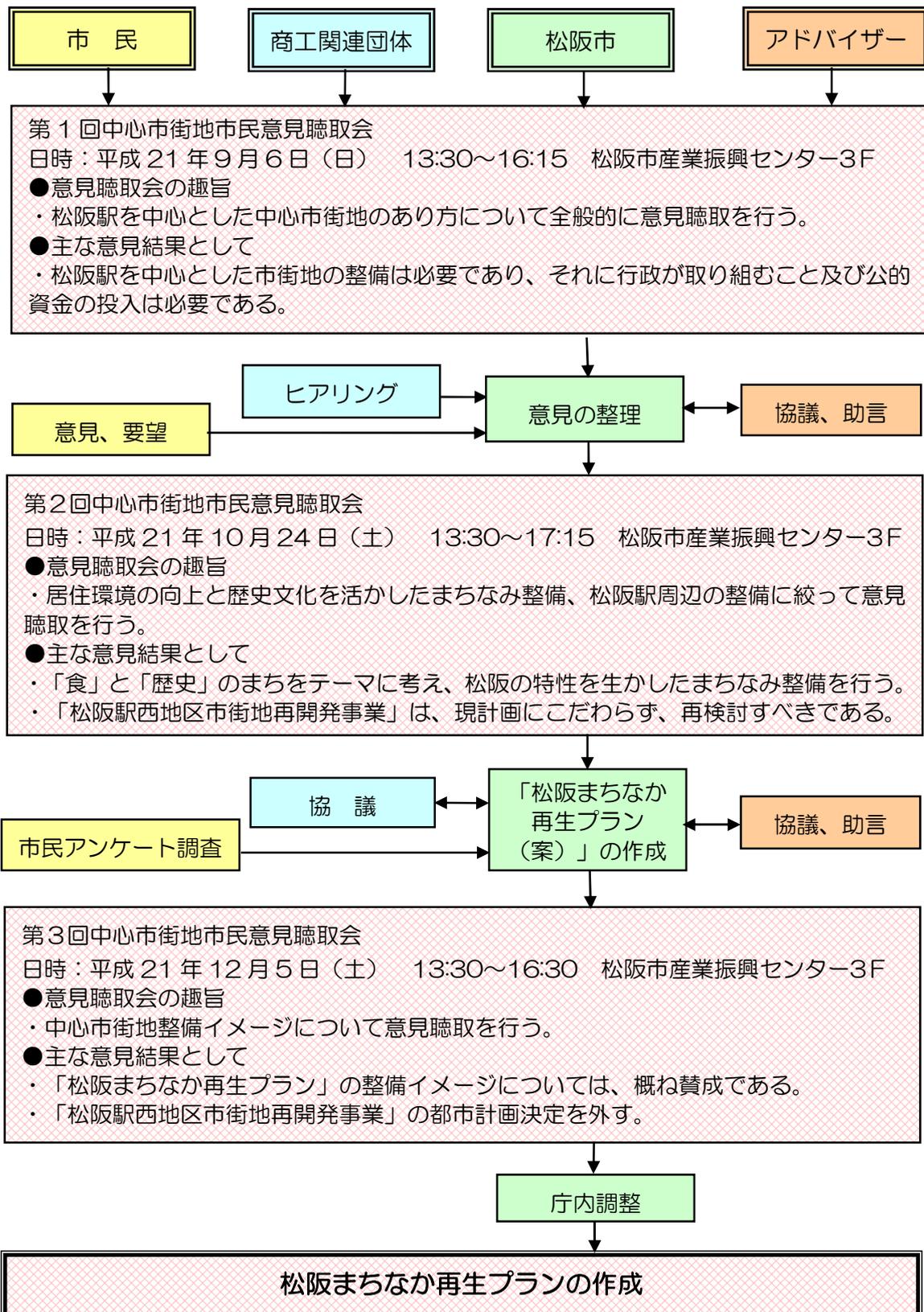
しかし、具体的に実施する事業の抽出が整わなかったことや、核的な事業であった松阪駅西地区市街地再開発事業の推進が困難になったこと、又、組織的な体制が整わなかったこと等から、国へ認定申請を行うには至りませんでした。

〔平成 21 年度〕

松阪駅を中心とした中心市街地のあり方を検討するアンケート調査及び市民や専門家等から意見聴取等を行い、「松阪まちなか再生プラン」を作成しました。

2. 再生プラン作成への取り組み

松阪市全体のまちづくりを考えながら、松阪駅を中心とした中心市街地のあり方について、市民、専門家の方から意見を伺う「中心市街地市民意見聴取会」を3回開催し、これらの意見を踏まえ本再生プランを作成する。



3. 中心市街地の範囲およびゾーニング

中心市街地の範囲は、市役所等の行政機能、商店街等の商業機能、他にも歴史・文化機能や教育機能といった様々な機能が集積する地区として松阪駅を中心とした以下の区域である。

本区域を、それぞれの特性に応じて以下の 5 つのゾーンに区分するが、それぞれのゾーンは、互いに連携しながら本市の顔となる中心市街地を形成する役割を担う。

- 「歴史文化ゾーン」：蒲生氏郷が築城をはじめた松阪城跡や、歴史建造物の御城番屋敷等があり、他にも本居宣長旧宅や記念館、三井家発祥地等の本市が輩出した歴史人物に関連する史跡地が現存するゾーン
- 「中心商店街ゾーン」：7つの商店街が存在し、商店・飲食店等が立地するゾーン
- 「駅拠点ゾーン」：交通結節点である松阪駅を中心としたゾーン
- 「沿道業務ゾーン」：周辺市町を結ぶ幹線道路である国道42号の沿道で、商業施設・事務所等が立地するゾーン
- 「居住ゾーン」：上記以外のエリアで、主に住宅が立地するゾーン

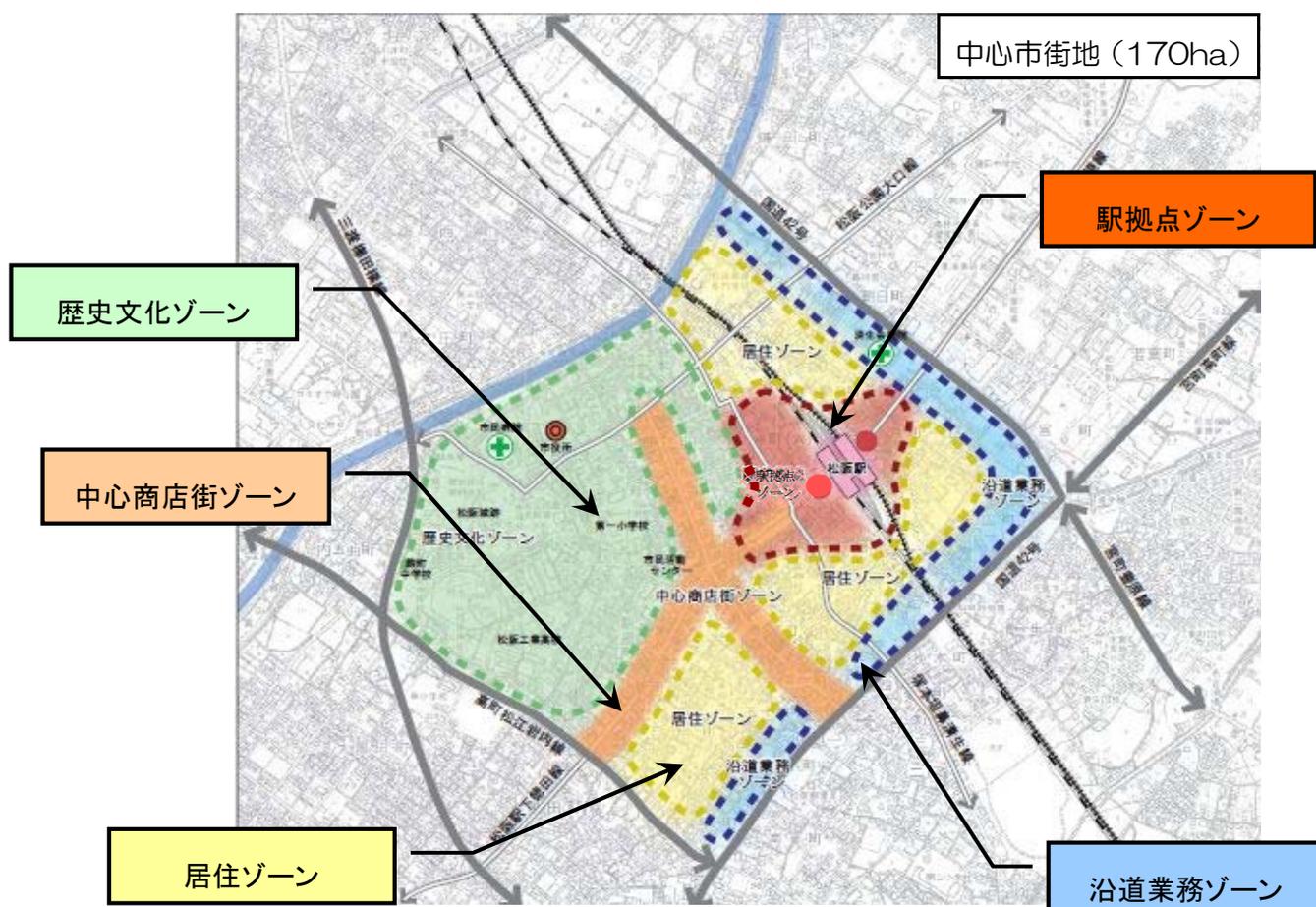


図 中心市街地活性化ゾーニング

(資料：『松阪市中心市街地活性化骨子案』より)

4. 中心市街地の再生に向けた考え方

中心市街地の再生は、市民、商業者、各種団体、行政等のみんなが共通の目的をもって、推進していくことが必要であり、本市が誇る「食」と「歴史」を活用したまちなか再生に向けてのビジョンを以下に示す。

「食」を感じ「歴史」を温めるまちへ

魅力ある松阪市をみんなで創っていくために、松阪が誇る「食」と「歴史」を活かした、まちなみ整備・情報発信を行い、『松阪の顔』となる中心市街地をつくる。

<整備のイメージ>

- ◆ 「松阪駅」「商店街」「魚町・本町界隈」「松阪城跡」「御城番屋敷」をネットワークするまちづくりを展開する。
 - ・ 中心市街地を楽しく回遊するために、松阪駅、商店街、御城番屋敷、松阪もめん手織りセンター等をまちの拠点とし、中心市街地の魅力を松阪市内外にPRし、多くの人が交流するまちづくりを行う。
- ◆ 中心商店街の活性化を図り、暮らしても、訪れても、楽しく感じるまちとする。
 - ・ 中心商店街の活性化を図ることは、本市全体の活力を高めることにつながることから、様々な人々が集まり、生活に密着した魅力ある商店街の形成を図る。
- ◆ 松阪市が誇る「食」と「歴史」を、全国に“差別化”してアピールを行う。
 - ・ 本市には、松阪肉を中心に様々な魅力ある食がある。また、多くの歴史文化があり、それらを温め、後世に語り継いでいくとともに、恵まれた食と歴史を全国に発信し、各地から訪れていただけるまちづくりを進める。
- ◆ 誰もが住みたくなる、住んでよかったと思うまちをつくる。
 - ・ まちなみ整備、中心商店街の活性化等により、人と人がつながり、誰もが住みたくなる、住んでよかったと自慢できる魅力的なまちを目指す。
- ◆ 松阪駅を中心とした『松阪の顔』をつくる。
 - ・ 松阪駅は一日に約2万人が利用する松阪市の顔であることから、JR松阪駅前広場のリニューアルに取り組むなど、イメージアップを図る。

5. 再生に向けての理念と基本目標

本再生プランの理念は、本市にある様々な「食」のすばらしさを感じながら、また本市を代表する先人が築き上げた「歴史」を温めながら、今後のまちづくりに活用し、次世代に語り継いでいくことを基本とする。

そして、本市に住んでいる人や来訪者との交流の和を広げ、ふれあい等を通じて心をつなげていく。

この理念に基づき、再生を実現するための基本目標を《歴史》、《^{あきない}商》、《食》、《住》、《駅周辺》の5つの視点から以下のように設定する。

理念

「食」を感じよう！ 「歴史」を温めよう！！
そして、「人の心」をつなげよう！！！！



基本目標

- ① 《歴史》 “氏郷”と“豪商”のまちを語り継ぐ
～歴史の物語りを温めるまちづくり～
- ② 《商》 来て・見て・買って 21世紀の「楽市楽座」
～賑わい活力のある元気な商店街づくり～
- ③ 《食》 日本一のグルメタウンを感じよう
～松阪グルメを感じさせる食の魅力づくり～
- ④ 《住》 人の和が広がるスマイルタウン
～笑顔が生まれる幸せなまちづくり～
- ⑤ 《駅周辺》 出会い・ふれあい “松阪駅”
～人にやさしいリニューアル～

6. 再生に向けての方針および施策

6.1 《歴史》 “氏郷” と “豪商” のまちを語り継ぐ

松阪城跡や殿町・魚町・本町界隈を中心に、松阪市らしさを感じられる歴史文化を活かし、「住んでよかった、来てよかったと感じる」魅力的なまちをつくる。

★基本目標★

～ 歴史の物語りを温めるまちづくり ～

◆◆ 主な取り組み ◆◆

1. 国の指定史跡を目指す「松阪城跡」を核とした「物語り」を発信できるまちづくりをする。
2. 蒲生氏郷の「大河ドラマ」化に向けて、官民一体となる地域ぐるみの取り組みをする。
3. 「御城番屋敷」「原田二郎旧宅」の改修を行い、松阪市の歴史・文化を継承するとともに、観光資源として活用を図る。
4. 「松阪城跡」「御城番屋敷」「本居宣長記念館」「松阪商人の館」「松阪もめん手織りセンター」等、松阪市の歴史を歩いて感じられるまちづくりを行う。
5. 散策ルートには、歴史や松阪市らしさを感じさせる統一サインを設け、イメージアップを図る。
6. 松阪市が誇る魅力的なまちを保全するために、景観ルールづくりを目指し、併せて、修景整備等を行う。
7. 団体観光客の誘客を促進するため、観光バス等の駐車場の確保を図る。
8. 南三重の観光資源と連携した「立ち寄り観光」を推進する。

具体的施策

(1) 国の指定史跡を目指す「松阪城跡」を核とした「物語り」を発信できるまちづくりをする。

【ソフト的な施策】

① 松阪市が誇る歴史を宝として、地域の方々並びに全国にアピールするために、松阪城跡の国指定史跡を目指す。

- ・国指定史跡に向けて、文化庁と協議を行いながら、指定に必要な作業を行う。

併せて、シンポジウム等を開催し、情報発信を行う。

- ・事業団体：松阪市
- ・着手時期：実施中



松阪城跡

② 松阪城跡の価値を高め、末永く保存するために「松阪城跡保存管理計画」を作成する。

- ・事業団体：松阪市
- ・着手時期：実施中

③ 松阪市の歴史を紹介し、散策ができる「物語り」を作成する。

- ・松阪市の歴史を「松阪城跡」に関連する「御城番屋敷」「原田二郎旧宅」をはじめとする建造物と松阪市を代表する偉人として「本居宣長」「三井高利」等の人物にスポットをあてた「物語り」をつくり、各々の散策ルートの設定やパンフレットを作成し、展示やそれらの体験ができる仕組みを検討する。

- ・事業団体：松阪市、松阪市観光協会
- ・着手時期：実施中

(2) 蒲生氏郷の「大河ドラマ」化に向けて、官民一体となる地域ぐるみの取り組みをする。

【ソフト的な施策】

① 蒲生氏郷に関する歴史や人物像等の情報を収集し、「物語り」を作成するための準備を行うとともに、官民が一体となった「大河ドラマ」を誘致する会を設立し、研究会の開催、イベント等の誘致活動などを行う。

- ・事業団体：松阪市、関係団体
- ・着手時期：平成 22 年度

(3) 「御城番屋敷」「原田二郎旧宅」の改修を行い、松阪市の歴史文化を継承するとともに、観光資源として活用を図る。

【ハード的な施策】

- ① 御城番屋敷を保存し、後世に継承するために、改修工事を行う。
また、一般公開を行い、観光拠点としての役割を果たす。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：実施中

- ② 武家屋敷・原田二郎旧宅を景観重要建造物としての指定を行い、歴史公開施設として改修し、活用する。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成 22 年度



御城番屋敷の改修



原田二郎旧宅の改修

【ソフト的な施策】

- ③ 市民に松阪市への愛着を感じてもらうために、歴史を再認識する機会を増やす。
 - ・松阪市の歴史を知るためのまち歩き等のイベントや歴史に関する勉強会、講演会等を開催する。更に、市内歴史関係の施設を文化団体・小中学生等に積極的に活用を促進し、文化講座等を実施する。
 - ・事業団体：松阪市、松阪市観光協会、住民
 - ・着手時期：実施中

(4) 「松阪城跡」「御城番屋敷」「本居宣長記念館」「松阪商人の館」「松阪もめん手織りセンター」等、松阪市の歴史を歩いて感じられるまちづくりを行う。

【ハード的な施策】

① 楽しく、また快適に散策していただくために、散策ルートのカラー舗装化等、散策しやすい路面デザイン等を行う。

- ・事業団体：松阪市
- ・着手時期：実施中



通り本町（旧参宮街道）



魚町通り

② 散策ルートに面したところに、語り、ふれあい、ひと休みできるベンチの設置等を検討する。

- ・事業団体：松阪市、関係団体
- ・着手時期：平成22年度



ベンチの設置例

【ソフト的な施策】

③「御城番屋敷」「松阪もめん手織りセンター」を散策拠点とし、また散策を楽しむ方への一層の機能強化を図る。

- ・松阪もめん手織りセンターにおいて、新たな手織り体験のメニュー開発を検討する。
- ・千利休の高弟として蒲生氏郷があり、また近世の豪商によって広く発展した茶道。このお茶等の体験・提供できる場の設置を検討する。
- ・事業団体：松阪市、松阪市観光協会、関係団体
- ・着手時期：平成22年度

- ・散策拠点である「御城番屋敷」の一角において、地域の物産やお土産を販売するなど情報発信、交流機能を強化する。
- ・事業団体：松阪市、松阪市観光協会、関係団体
- ・着手時期：平成23年度



松阪もめん手織りセンター



御城番屋敷

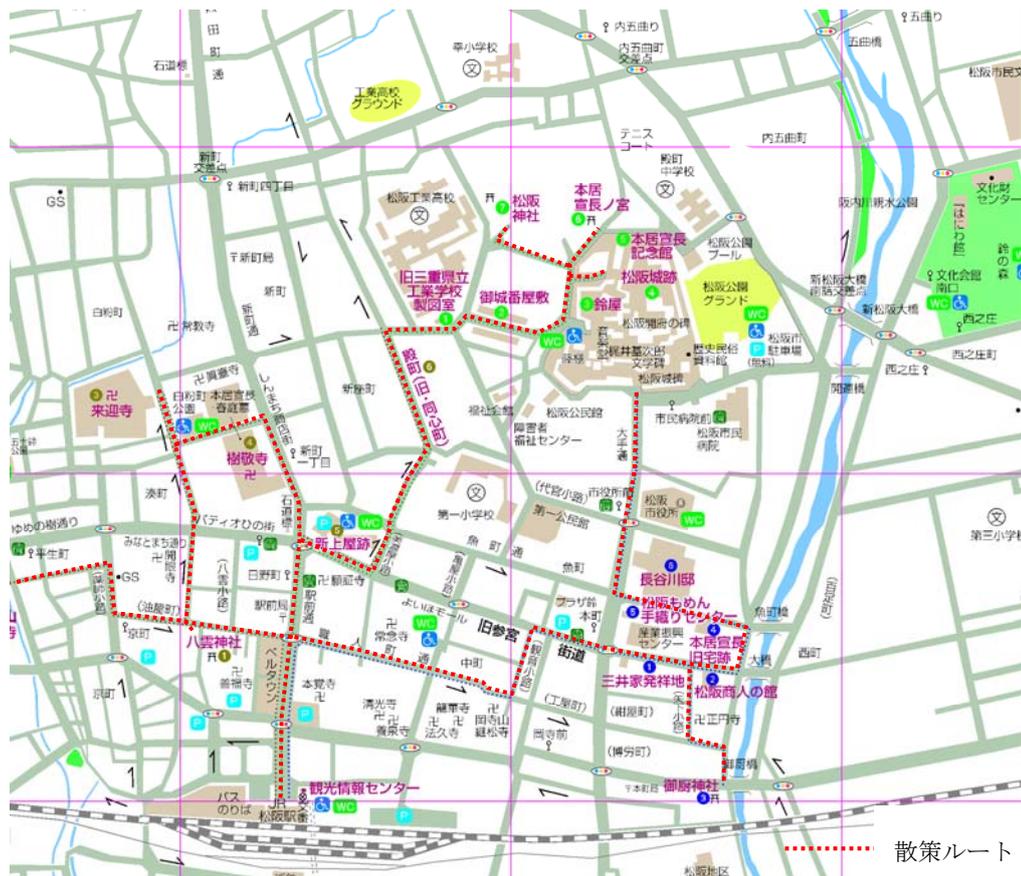
④ 歩いてまちなかを散策するルートづくりと、名所旧跡を盛り込んだ手頃な散策路の紹介を行う。更に新たなコースの研究、充実を図っていく。

《氏郷コース》歴史ロマンを巡る城下町を散策するコース

《商人コース》豪商が暮らした「松阪商人」発祥地を散策するコース

《宣長コース》国学者本居宣長の足跡をたどるコース 等

- ・事業団体：松阪市、松阪市観光協会
- ・着手時期：実施中



散策ルートの例（「ぶらり松阪路」より）

- ⑤ 散策に必要な情報源となる観光パンフレットやマップを作成する。
 - ・パンフレットやマップは、歴史・文化等の情報に応じて作成するなど見やすさの充実を図り、マップの大きさを、手帳サイズにするなど持ち運びが便利なものを検討する。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成22年度

- ⑥ 松阪城跡周辺に所在する施設と松阪市文化財センター（はにわ館）との連携を図る。
 - ・御城番屋敷や松阪商人の館、松阪市文化財センター（はにわ館）など、それぞれの施設が行き来しやすいような工夫を行い連携を強める。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成22年度

(5) 散策ルートには、歴史や松阪市らしさを感じさせる統一サインを設け、イメージアップを図る。

【ハード的な施策】

① 散策ルートには、夜間でも歴史や風情を感じるまちなみを映し出し、安心して歩けるように街路灯の設置を検討する。

- ・事業団体：松阪市、自治会
- ・着手時期：平成 24 年度



街路灯の例

【ソフト的な施策】

② 散策ルートには、来訪者が一目でわかる目印となる統一したサインを設置する。

- ・松阪市の特産である松阪木綿等を活用した統一的なサインづくりを検討する。
- ・事業団体：松阪市
- ・着手時期：平成 22 年度



松阪もめん手織りセンターのサイン



松阪商人の館のサイン

(6) 松阪市が誇る魅力的なまちを保全するために、景観ルールづくりを目指し、併せて、修景整備等を行う。

【ハード的な施策】

① 松阪城への大手通りであった松阪公園大口線街路整備（市役所前道路の拡幅・修景整備）については、市における他のまちづくり事業との優先順位を見据えた上で、財政状況を含めて検討する。

- ・ 事業団体：松阪市
- ・ 着手時期：平成22年度



松阪公園大口線

【ソフト的な施策】

② 殿町の御城番屋敷から榎垣のある住宅地周辺や魚町・本町界隈では、武者隠しや古い建物など良好な景観が残っており、まちなみを保全するためのエリアを定め、景観重点地区としてのルールづくりを行う。

- ・ 建築物における高さ、意匠等に関する基準や建築物以外の工作物に関する基準を定める等ルールづくりを行う。
- ・ 事業団体：松阪市、住民
- ・ 着手時期：実施中



殿町のまちなみの保全



魚町のまちなみの保全

(7) 団体観光客の誘客を促進するため、観光バス等の駐車場の確保を図る。

【ハード的な施策】

- ① バスツアー客の誘致を進めるために、既存駐車場の整備やその他の空きスペースの活用を検討する。
 - ・ 松阪市駐車場の他に大型バス等の駐車スペースを確保できるよう検討する。
 - ・ 事業団体：松阪市
 - ・ 着手時期：平成22年度

【ソフト的な施策】

- ② 観光バス等で訪れる観光客の利便性を向上させるため、駐車場にも観光案内パンフレット置き場を設置し、案内機能の充実を図る。
 - ・ 駐車場に観光案内パンフレット置き場を設置する。
 - ・ 事業団体：松阪市、松阪市観光協会
 - ・ 着手時期：平成 23 年度

(8) 南三重の観光資源と連携した「立ち寄り観光」を推進する。

【ソフト的な施策】

- ① 伊勢志摩や東紀州といった観光地と連携し、松阪市にも立ち寄ってもらうための観光客へのおもてなしの充実、松阪市の物産振興を図る。
 - ・ 「(仮)まつさか交流物産館」や「おもてなし処」、散策拠点を中心に、観光客をもてなし、地域住民との交流を図るとともに、南三重地域及び近隣地域の物産振興を図る。
 - ・ 事業団体：松阪市、松阪市観光協会
 - ・ 着手時期：平成22年度
- ② 松阪市にある様々な歴史・文化を市内外にPRし、松阪市に来てもらい、楽しんでもらう企画を実施する。
 - ・ 観光客を増やすために、全国の旅行業者やマスメディア等へ情報発信・PRを行う。
 - ・ 立ち寄り観光スポットを列記した観光パンフレットやマップを近隣地域も含めた各所（鉄道駅、サービスエリア、道の駅等）に配置し、広く情報を発信する。
 - ・ 事業団体：松阪市、松阪市観光協会
 - ・ 着手時期：平成22年度

③ 松阪市への来訪者が利用しやすいレンタルサービスの拡充を図る。更に、来訪者のニーズにあわせて利用方法を検討する。

- ・まちなか観光を効率的に楽しんでもらうために環境にやさしく、気持ちよさを優先したレンタサイクルサービスの提供を推進する。
- ・来訪者が、松阪の風情を体感していただくために、5分で着られる松阪木綿の着物を貸し出す。
- ・事業団体：松阪市観光協会、関係団体
- ・着手時期：実施中



観光案内所のレンタサイクル



松阪木綿の着物レンタル

④ 伊勢神宮（神宮式年遷宮：平成 25 年）へ訪れる観光客に立ち寄っていただけるよう、観光戦略をたて観光客の集客を図る。

- ・近隣市町および旅行会社との連携を図り、鉄道、バス等の交通手段に対応した旅行プランを企画する。
- ・事業団体：松阪市、松阪市観光協会
- ・着手時期：平成 22 年度



松阪のお土産



観光バスでの旅行者



御城番屋敷散策



魚町散策

6.2 《商》 来て・見て・買って 21世紀の「楽市楽座」

中心商店街では、誰もが気軽に買物ができるような「楽市楽座」を展開し、消費者ニーズに対応した販売促進を行い、まちなかを買物客や来訪者で賑わう活力のある商店街をつくる。

★基本目標★

～ 賑わい活力のある元気な商店街づくり ～

◆◆ 主な取り組み ◆◆

1. 消費者ニーズに対応した販売促進を行い、人を呼ぶ商店街や個店の強化を図る。
2. 空き店舗対策を行い、商店街機能の集積を図る。
3. 定期的に朝市（まちなか楽市）やワゴン屋台、フリーマーケット等を開催する。
4. まち歩きのリ休憩所や情報収集の場となる「おもてなし処」を充実する。
5. 松阪市の「食」を楽しんでもらうための環境、情報、商品等を充実し、メディア等も活用したPR活動を行う。

具体的施策

(1) 消費者ニーズに対応した販売促進を行い、人を呼ぶ商店街や個店の強化を図る。

【ソフト的な施策】

① 消費者ニーズに対応した販売促進活動及び集客誘導する活動を、商店街や各個店で展開する。

- ・消費者ニーズに対応した個店の能力向上セミナーの開催、商店街ブログによる店主のこだわりの商品紹介等により個店の魅力を情報発信する。更に、広域的な事業者との連携を図り、商品及び個店の充実を図る。

- ・事業団体：松阪市、松阪商工会議所、各商店街振興組合、事業者
- ・着手時期：実施中

- ・にぎわいまつり、鈴の音市など既存のイベントのほか周辺住民のニーズにあった新規集客イベントを企画し、商店街への集客を図る。

- ・事業団体：松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
- ・着手時期：実施中

② 魅力ある個店づくりを目指す店主や商店街の将来の担い手となる新規創業者を育成するとともに、新たな商店街の取組みを企画・実行する商店街活動のリーダー的人材の確保、育成を図る。

- ・商店街での起業希望者に対して、起業の「いろは」と成功のポイントを学ぶために「(仮)まちなか開業塾」を開講し、人材の確保、育成を図る。

- ・事業団体：松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
- ・着手時期：平成22年度

- ・個店が連携し、商店街としての魅力増進を図るために「(仮)商店街魅力アップ戦略会議」を開催することで、担い手の育成と戦略的な商店街のあり方を検討し、魅力的な商店街活動を実行していく。

- ・事業団体：松阪市、松阪市商店街連合会
- ・着手時期：平成22年度

- ・アドバイザー等の専門的知識を有する者や専門機関との交流を図り、個店・商店街の活性化を推進する。

- ・事業団体：松阪市、松阪商工会議所、各商店街振興組合、事業者
- ・着手時期：実施中



③ 魅力ある商店街づくりを行うために、統一したサイン等を掲げイメージアップを図る。

- ・ 松阪木綿をモチーフに松阪市のキャラクター“ちゃちゃも”等を活用した「商店街フラッグ」を作成し、統一したサインを連続して掲げる。
- ・ 商店や街路樹等へのイルミネーションの飾り付けを行う。
- ・ 商店街や周辺の道路にフラワーポット等を置き、華やかな商店街をつくる。
- ・ 事業団体：松阪市、各商店街振興組合
- ・ 着手時期：実施中



ベルタウンにおけるフラッグの例



パティオひの街の例



おもてなし処（夢休庵）の例



イルミネーションの例

(2) 空き店舗対策を行い、商店街機能の集積を図る。

【ソフト的な施策】

- ① 空き店舗の再生を図り、商店街機能の充実を図るために、空き店舗入居者に対する支援を行うなど、空き店舗の活用を図る。
- ・ 中心市街地内の空き店舗を把握し、インターネット上の「中心商店街空き店舗情報バンク」等から情報発信を行い、入居者の斡旋をする。
 - ・ 事業団体：松阪商工会議所、松阪市商店街連合会
 - ・ 着手時期：実施中
- ・ 空き店舗等において、事業を行う出店者に対し、改装費・賃借料を補助する「空き店舗等出店促進補助金制度」の活用により空き店舗等の再生を図る。
- ・ 事業団体：松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会
 - ・ 着手時期：実施中
- ・ 空き店舗を活用し、松阪、南三重の地域物産品等の特色を活かした販売促進を図り、地域振興に役立てるアンテナショップの開設を検討する。
- ・ 事業団体：松阪市、松阪商工会議所、商工会、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
 - ・ 着手時期：平成22年度
- ・ 空き店舗等を利用し、休憩所やギャラリーといった活用を行う。更に、新たな活用方法を検討する。
- ・ 事業団体：松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
 - ・ 着手時期：実施中



おもてなし処（鈴の音）の例

- ② 空き店舗等が増加する中で、松阪の顔である中心商店街にふさわしい抜本的な松阪駅前商店街のあり方をハード・ソフト両面から総合的に検討する。
- ・市民が利用しやすい商店街づくりを模索し、ベルタウンのあり方や商店街アーケード等を総合的に検討する。
 - ・事業団体：松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
 - ・着手時期：実施中

(3) 定期的に朝市（まちなか楽市）やワゴン屋台、フリーマーケット等を開催する。

【ソフト的な施策】

- ① 商店街のスペースを利用して定期的に朝市、トラック市、ワゴン屋台、フリーマーケット等を開催し、商店街との連携をもって集客を図る。
- ・ベルタウンの一部を活用して「軽トラック市」を開催し、松阪市の各地域を象徴するような特産物による地産地消を推進するとともに、南三重地域をはじめとする広域的な地域物産の販売を行い商店街の活性化を図る。
 - ・事業団体：松阪市、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
 - ・着手時期：平成22年度



平生町の朝市



トラック市（イメージ）



「軽トラック市」予定地

(4) まち歩きの見物所や情報収集の場となる「おもてなし処」を充実する。

【ソフト的な施策】

① 「おもてなし処」において、ガイドボランティア等と連携し、松阪市内の歴史を紹介する情報発信機能を充実する。

- ・ ゆったり買物をしていただくために手荷物一時預かりやお土産の販売等のサービスの向上を図るための手法を検討する。
- ・ 事業団体：松阪市、松阪市観光協会、各商店街振興組合、関係団体
- ・ 着手時期：平成 22 年度



おもてなし処 (鈴の音)



おもてなし処 (夢休庵)



おもてなし処 (すずらん)



ガイドボランティアによる説明

(5) 松阪市の「食」を楽しんでもらうための環境、情報、商品等を充実し、メディア等も活用したPR活動を行う。

【ソフト的な施策】

① 食文化や歴史・文化を盛り込んだ、まちなか観光と連携した商業の活性化を図る。

- ・ 松阪市の食を利用したお土産や食品等をPRし、観光客向けの販売を促進する。
- ・ 事業団体：松阪市、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
- ・ 着手時期：平成23年度

6.3 《食》 日本一のグルメタウンを感じよう

「松阪肉」を中心とした、様々な魅力がそろった松阪市の「食」を、市民や来訪者に存分に楽しんでもらうため、環境、情報、商品等を充実させる。

★基本目標★

～ 松阪グルメを感じさせる食の魅力づくり ～

◆◆ 主な取り組み ◆◆

1. 「ご当地グルメ」のポスターや「食べ歩き」マップを作成し、まちの魅力、情報を売り込む。
2. 松阪市の「食」を利用して、民間と行政が連携する中で、オリジナリティあふれる商品を開発し、販売につなげていく。
3. さまざまな食材をB級グルメとして、食べる工夫を検討するとともに、「B-1グランプリ」への出場を目指す。

具体的施策

(1) 「ご当地グルメ」のポスターや「食べ歩き」マップを作成し、まちの魅力、情報を売り込む。

【ソフト的な施策】

① 松阪市ならではの「ご当地グルメ」を紹介するために、ポスターやマップ等を作り、インターネットやテレビ、ラジオ、イベント等を通じ、より多くの市民ネットワークを活用した情報発信を行う。

- ・ 事業団体：松阪市、松阪商工会議所、松阪市観光協会
- ・ 着手時期：実施中



松阪市観光PRポスター

② 食べたいメニューやお店の情報を紹介した食べ歩きマップを作成し、まち歩きをしながら、松阪グルメを楽しんでもらうために、クーポン券の発行や食べ歩き食事券の発行を企画する。

- ・ 事業団体：松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会
- ・ 着手時期：平成22年度



ホルモンマップ



(2) 松阪市の「食」を利用して、民間と行政が連携する中で、オリジナリティあふれる商品を開発し、販売につなげていく。

【ソフト的な施策】

① 「松阪牛」や「松阪の茶」に代表される松阪ブランドの振興策をより充実させるとともに、市民に親しまれているグルメを発掘・振興し、そこから相乗効果が現れるよう戦略的な展開を図る。

- ・ 松阪市の食材を使った加工品やお土産品の開発等を行い、松阪の味を全国発信する。
- ・ 事業団体：松阪市、商業者、関係団体
- ・ 着手時期：平成 22 年度



松阪牛



松阪の茶

(3) さまざまな食材をB級グルメとして、食べる工夫を検討するとともに、「B-1グランプリ」への出場を目指す。

【ソフト的な施策】

① 松阪市の食材を活用したB級ご当地グルメを研究・開発し、ブランド化を進め、全国にPRする。併せて「B-1グランプリ」への出場を目指す。

- ・ 事業団体：松阪市、松阪市観光協会、商業者、関係団体
- ・ 着手時期：平成 23 年度



B-1 グランプリポスター（厚木市の例）

6.4 《住》 人の和が広がるスマイルタウン

中心市街地は、市役所、病院、学校等の様々な都市機能の集積地である。しかしながら近年では、人口の減少、少子高齢化が進んでいることから、居住環境の向上を図り、子どもから高齢者までみんなが元気に暮らし、当たり前前の幸せを感じるまちをつくる。

★基本目標★

～ 笑顔が生まれる幸せなまちづくり ～

◆◆ 主な取り組み ◆◆

1. 日頃から地域のコミュニケーションを図り、「語らい」「助け合い」を通じて人の和が広がるまちづくりを推進する。
2. 空地を活用してポケットパークを整備するなど、身近に利用できる交流空間、憩いの空間の創出を図る。
3. 中心市街地をつなぐ鉄道や路線バスとコミュニティバスの連携を図り、利便性を高めるとともに、松阪駅を中心とする交通システムの充実を図る。
4. 地域におけるまちづくりの核としての「住民協議会」の設立を促進し、コミュニティにおける住民自治の拡充を図る。

具体的施策

(1) 日頃から地域のコミュニケーションを図り、「語らい」「助け合い」を通じて人の和が広がるまちづくりを推進する。

【ソフト的な施策】

- ① 災害時における自助・共助の観点から地域の防災活動の浸透や災害時の地域連携意識の形成に向けて、自主防災組織の育成・強化を図る。
- ・災害時において地域が主体となった地域活動を目指し、定期的な防災訓練の実施、災害時の対応に関する講習会の開催等を行う。
 - ・事業団体：松阪市、自治会、住民
 - ・着手時期：実施中



防災訓練の実施

- ② 住んでいるまちに愛着を感じ、もっと好きになるように、コミュニケーション活動を広げ、地域コミュニティの醸成を図る。
- ・地域において子どもの通学時の安全パトロールや夜間パトロール等を実施し、更なる強化を図る。
 - ・コミュニケーションを図り、人の和がつながっていくように、あいさつの実施や子どもへの声かけ等を実行する。
 - ・事業団体：自治会、住民
 - ・着手時期：実施中
- ③ “ゴミのないまち”、“緑豊かなまち”を目指して、快適な居住環境をつくる。
- ・住民、自治会、商業者、ボランティア等によるまちなか清掃活動等を実施するとともに、ごみの収集方法やごみ置き場等を再検討し、地域の美化に努める。
 - ・住宅や店舗前の緑化やフラワーポットの設置等を推進する。（季節を感じる花の植栽など）
 - ・事業団体：松阪市、自治会、住民、商業者
 - ・着手時期：実施中

(2) 空地を活用してポケットパークを整備するなど、身近に利用できる交流空間、憩いの空間の創出を図る。

【ハード的な施策】

① 空地を活用して休憩所や交流空間として利活用できるポケットパークの整備を検討する。

- ・事業団体：松阪市
- ・着手時期：平成 23 年度



ポケットパークの整備例

(3) 中心市街地をつなぐ鉄道や路線バスとコミュニティバスの連携を図り、利便性を高めるとともに、松阪駅を中心とする交通システムの充実を図る。

【ハード的な施策】

① 都市基盤の整備改善を図るための幹線道路である高町松江岩内線街路整備については、市における他のまちづくり事業との優先順位を見据えた上で、財政状況を含めて検討する。（都市計画道路松阪駅下徳田線から国道42号までの区間）

- ・事業団体：松阪市
- ・着手時期：平成 22 年度



高町松江岩内線

【ソフト的な施策】

② 各種交通機関の利用促進を図るとともに、コミュニティバスの更なる利便性を図るため、共通回数券の発行、携帯時刻表を作成し市民が利用しやすい交通システムの充実を図る。

- ・ 事業団体：松阪市、運行事業者、関係団体
- ・ 着手時期：実施中



鈴の音バス



コミュニティバス



コミュニティ交通運行時刻表

(4) 地域におけるまちづくりの核としての「住民協議会」の設立を促進し、コミュニティにおける住民自治の拡充を図る。

【ソフト的な施策】

① 地域の身近な課題は地域住民が自主的かつ自律的に解決し、地域の個性を生かしたまちづくりを行うため地域マネジメントの取組みを継続的に進め、自分たちができることは、自分たちで行い、「住んでよかった」と言えるまちづくりを実現する。

- ・ 事業団体：松阪市、自治会、住民、関係団体
- ・ 着手時期：実施中



住民協議会総会



6.5 《駅周辺》 出会い・ふれあい “松阪駅”

松阪駅周辺は、住む人、商う人、働く人、旅する人など様々な人が出会い、市民活動、商業活動、文化活動等を通じて人が出会う大切な場所としての役割を担っている。また、そこは本市の活力を映し出すところであることから『松阪の顔』にふさわしいリニューアルを図る。

★基本目標★

～ 人にやさしいリニューアル ～

◆◆ 主な取り組み ◆◆

1. JR松阪駅前の玄関口である「駅前広場のリニューアル」を図り、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。
2. 松阪市の観光・物産振興、観光客へのおもてなしの充実を図るため、「(仮)まつさか交流物産館」を整備する。
3. 松阪駅西地区市街地再開発事業の都市計画決定を外し、民有地については民間に委ね、市有地の活用については再検討する。
4. 鎌田踏切のアンダーパス化を行い、中心市街地へのアクセスの向上を図る。(松阪公園大口線街路整備事業)

具体的施策

(1) JR松阪駅前の玄関口である「駅前広場のリニューアル」を図り、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。

【ハード的な施策】

- ① 老朽化した中央シェルターの付け替えを図る。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成 22 年度
- ② 歩道の修景整備、ユニバーサルデザイン化、照明灯等の整備を推進する。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成 23 年度
- ③ 松阪市の玄関口にふさわしい景観として、モニュメントのリニューアルを図る。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成 23 年度

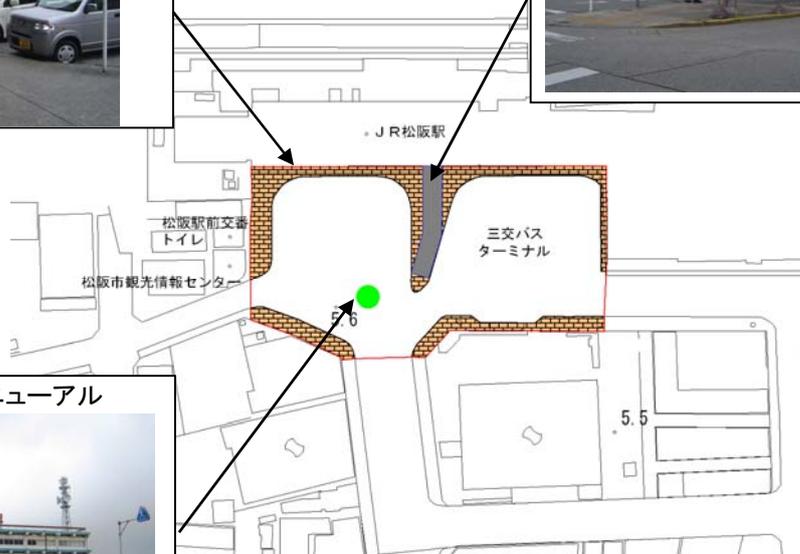
②歩道の修景整備・
ユニバーサルデザイン化



①中央シェルターの付替え



③モニュメントのリニューアル



(2) 松阪市の観光・物産振興、観光客へのおもてなしの充実を図るため、「(仮)まつさか交流物産館」を整備する。

【ハード的な施策】

- ① 松阪駅周辺に、観光客へ松阪の魅力を発信する「(仮)松阪交流物産館」を開設する。
- ・松阪を訪れた方をおもてなすために、松阪地域独自の物産や南三重地域の特色ある物産等のPRブースを設け、休憩所機能を併せもった「(仮)松阪交流物産館」を開設する。また、ガイドボランティアの活動拠点としての活用についても検討していく。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成 22 年度



情報コーナーのイメージ



休憩スペースのイメージ



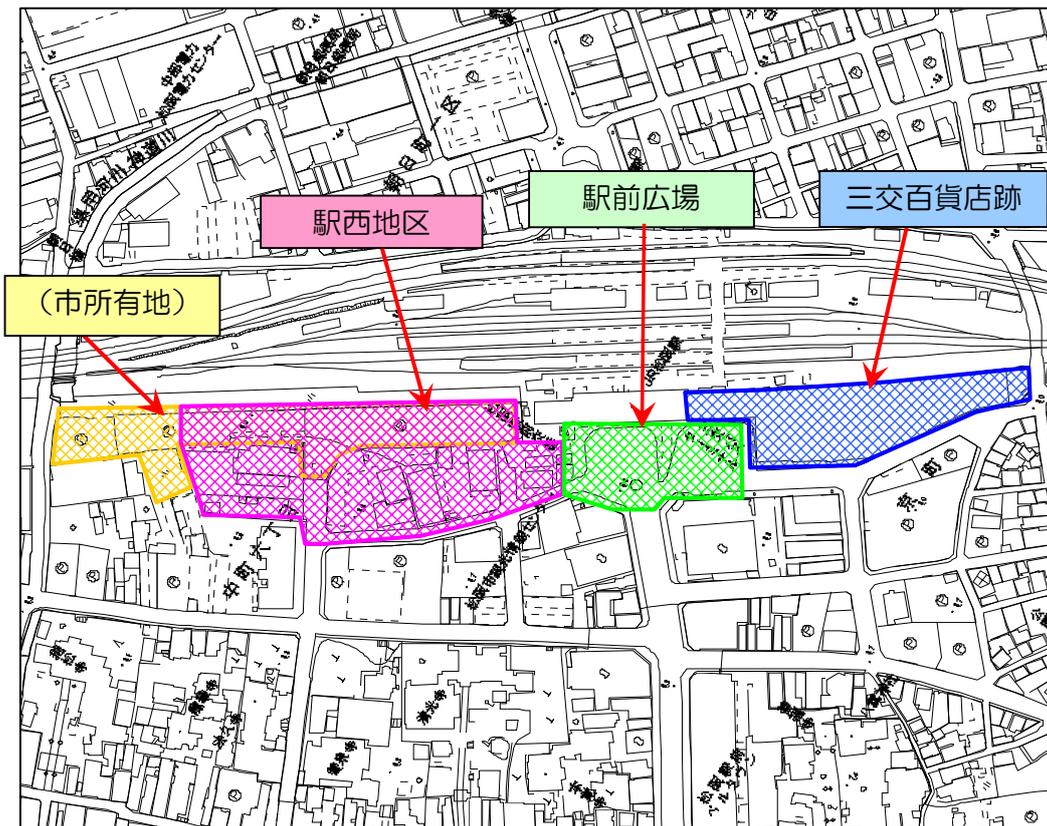
地域物産の販売所のイメージ

(3) 松阪駅西地区市街地再開発事業の都市計画決定を外し、民有地については民間に委ね、市有地の活用については再検討する。

【ソフト的な施策】

- ① 松阪駅西地区市街地再開発事業は一度白紙に戻し、民有地の土地活用は民間に委ねる。
 - ・「松阪都市計画第一種市街地再開発事業」「松阪都市計画高度利用地区」「松阪都市計画道路」の3つの都市計画を変更する。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：実施中

- ② 松阪駅周辺に存在する市有地の活用については、周辺の土地利用と合わせて再検討する。
 - ・事業団体：松阪市
 - ・着手時期：平成 22 年度



(4) 鎌田踏切のアンダーパス化を行い、中心市街地へのアクセスの向上を図る。
(松阪公園大口線街路整備事業)

【ハード的な施策】

① 松阪公園大口線の鎌田踏切においては、東西の連携を図り、中心市街地へのアクセス機能の強化を図る。

- ・事業団体：三重県
- ・着手時期：実施中

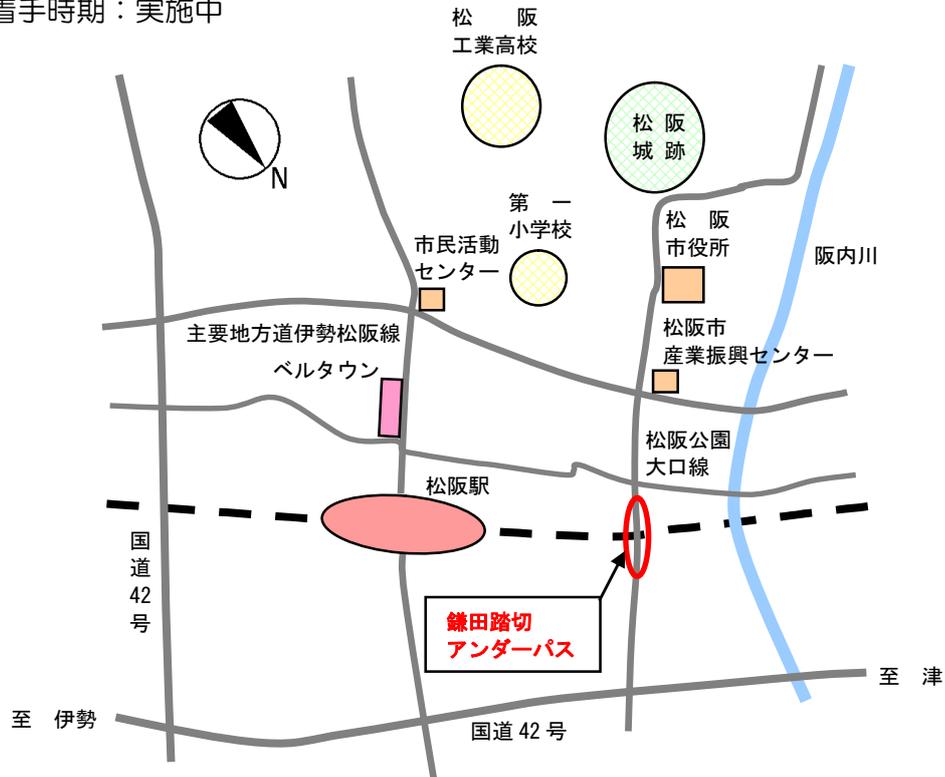
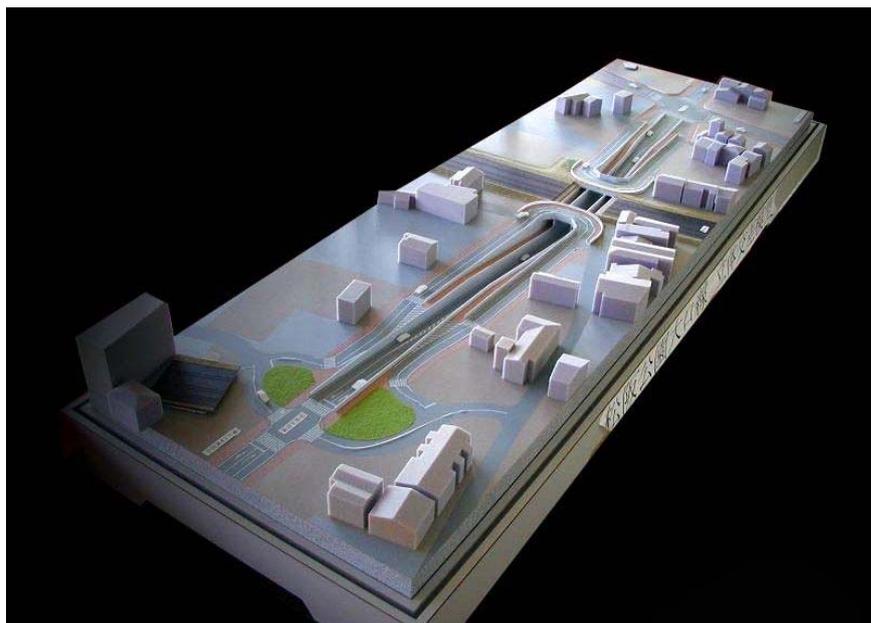


図 アンダーパスの位置



アンダーパスの整備イメージ

7. 施策の実行に向けて

本再生プランを実行するにあたり、市民、商業者、各種団体、行政等が連携しながら実現化に向けて取り組んでいくことが重要である。

- ◆ 市民は、住んでいるまちに誇りと愛着をもち、自分たちでまちづくりを行うといった意識に立ち、責任と自覚をもって自らが積極的にまちづくり活動に参加していく。
- ◆ 事業主体となる様々な団体は、住民や行政と連携を図りながら、専門的な技術力や経験をまちづくりに活用していく。
- ◆ 行政は、市民や様々な関係団体等との調整を図りながら事業手法等を検討し、本再生プランを推進し、様々な取り組みが継続できるよう支援を行う。

みんなで考え、みんなでつくる 松阪のまち

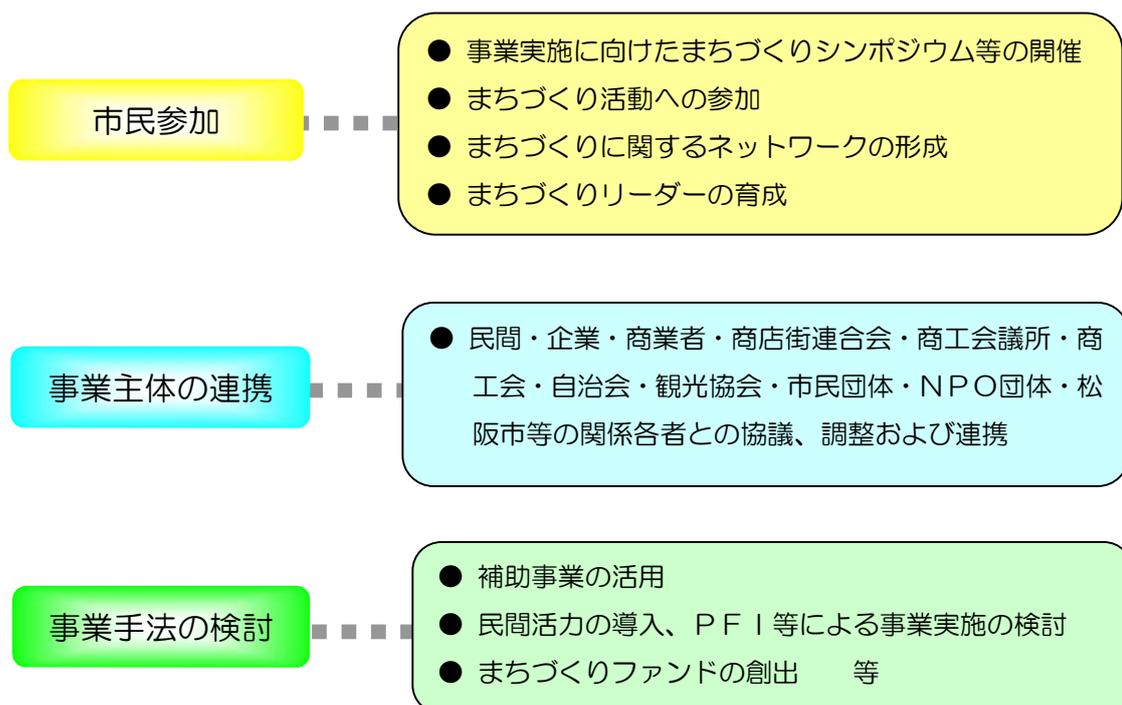


図 実行に向けての取り組み

《 施 策 一 覧 表 》

NO.1

整理 番号	区分	具 体 的 施 策	着 手 時 期	事 業 団 体
	基本目標			
1	歴 史	松阪城跡の国指定史跡を目指す。	実施中	松阪市
2		国指定史跡に向けて、シンポジウムを開催する。	H22	松阪市
3		「松阪城跡保存管理計画」を作成する。	実施中	松阪市
4		松阪の歴史を紹介する「物語り」をつくり、散策ルートの設定やパンフレットを作成し、展示や体験できる仕組みを検討する。	実施中	松阪市、松阪市観光協会
5		蒲生氏郷の情報収集、「物語り」の作成といった準備を行い、官民一体となった大河ドラマを誘致する会を設立し、誘致活動などを行う。	H22	松阪市、関係団体
6		御城番屋敷の改修工事を行う。	実施中	松阪市
7		武家屋敷・原田二郎旧宅を景観重要建造物の指定を行い、改修する。	H22	松阪市
8		市民が松阪市の歴史を知るためのイベントや勉強会、講演会を開催する。	実施中	松阪市
9		市内歴史関係の施設を文化団体・小中学生等に活用を促進し、文化講座等を実施する。	実施中	松阪市、松阪市観光協会、住民
10		散策ルートのカラー舗装化や散策しやすい路面デザイン等を行う。	実施中	松阪市
11		散策ルートに面したところに、ベンチの設置等を検討する。	H22	松阪市、関係団体
12		松阪もめん手織りセンターに、手織り体験のメニュー開発を検討する。	H22	松阪市、松阪市観光協会、関係団体
13		お茶等の体験・提供できる場の設置を検討する。	H22	松阪市、松阪市観光協会、関係団体
14		散策拠点である御城番屋敷の一角において、地域の物産やお土産を販売するなど情報発信、交流機能を強化する。	H23	松阪市、松阪市観光協会、関係団体
15		新たな散策コースの研究、充実を図る。	実施中	松阪市、松阪市観光協会
16		観光パンフレットやマップを作成する。	H22	松阪市
17		松阪城跡周辺施設と松阪市文化財センター等との連携を図る。	H22	松阪市
18		散策ルートに街路灯の設置を検討する。	H24	松阪市、自治会
19		散策ルートには、松阪木綿等を活用した統一的なサインづくりを検討する。	H22	松阪市
20		松阪公園大口線街路整備（市役所前）は、市のまちづくり事業との優先順位・財政状況を含めて検討する。	H22	松阪市
21		殿町・魚町・本町界隈では、景観重点地区としてのルールづくりを行う。	実施中	松阪市、住民
22		既存駐車場の整備やその他の空きスペースの活用を検討する。	H22	松阪市
23		大型バス等の駐車スペースを確保できるよう検討する。	H22	松阪市
24		駐車場に観光案内パンフレット置き場を設置する。	H23	松阪市、松阪市観光協会
25		観光客をもてなし、地域住民との交流を図るとともに、南三重地域及び近隣地域の物産振興を図る。	H22	松阪市、松阪市観光協会
26		松阪市に来てもらい、楽しんでもらう企画を実施する。	H22	松阪市、松阪市観光協会
27		レンタルサービスの拡充を図り、ニーズにあわせて利用方法を検討する。	実施中	松阪市観光協会、関係団体
28		伊勢神宮へ訪れる観光客に立ち寄りてもらえるような観光戦略をたて観光客の集客を図る。	H22	松阪市、松阪市観光協会

《 施 策 一 覧 表 》

整理番号	区分 基本目標	具 体 的 施 策	着手時期	事業団体
29	《 商 》	個店の魅力を情報発信する。更に、広域的な連携を図り、商品及び個店の充実を図る。	実施中	松阪市、松阪商工会議所、各商店街振興組合、商業者
30		新規集客イベントを企画し、商店街への集客を図る。	実施中	松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
31		人材の確保、育成を図るために「(仮)まちなか開業塾」を開講する。	H22	松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
32		商店街としての魅力増進を図るために「(仮)商店街魅力アップ戦略会議」を開催する。	H22	松阪市、松阪市商店街連合会
33		アドバイザーなどの専門的知識を有する者や専門機関との交流を図り、個店・商店街の活性化を推進する。	実施中	松阪市、松阪商工会議所、各商店街振興組合、商業者
34		魅力ある商店街づくりを行うために、統一したサイン等を掲げイメージアップを図る。	実施中	松阪市、各商店街振興組合
35		空き店舗を減らすために「中心商店街空き店舗情報バンク」等から情報発信を行う。	実施中	松阪商工会議所、松阪市商店街連合会
36		「空き店舗等出店促進補助金制度」を活用し、空き店舗の再生を図る。	実施中	松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会
37		松阪、南三重の地域物産等の特色を活かしたアンテナショップの開設を検討する。	H22	松阪市、松阪商工会議所、商工会、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
38		空き店舗等を利用し、休憩所やギャラリーといった活用を行う。	実施中	松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
39		市民が利用しやすい商店街づくりを模索し、ヘルタウンのあり方や商店街アーケードなどを総合的に検討する。	実施中	松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
40		ヘルタウンの一部を活用し「軽トラック市」を開催する。	H22	松阪市、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
41		「おもてなし処」において、ガイドボランティア等と連携し、情報発信機能を充実する。	H22	松阪市、松阪市観光協会、各商店街振興組合、関係団体
42		松阪市の食を利用したお土産や食品等をPRし、観光客向けの販売を促進する。	H23	松阪市、松阪市商店街連合会、各商店街振興組合
43	《 食 》	「ご当地グルメ」を紹介するために、ポスターやマップ等を作り、インターネットやテレビ、ラジオ、イベント等を通じ、情報発信を行う。	実施中	松阪市、松阪商工会議所、松阪市観光協会
44		食べ歩きマップを作成し、松阪グルメを楽しんでもらうために、クーポン券の発行や食べ歩き食事券の発行を企画する。	H22	松阪市、松阪商工会議所、松阪市商店街連合会
45		松阪市の食材を使った加工品やお土産品の開発等を行い、松阪の味を全国発信する。	H22	松阪市、商業者、関係団体
46		松阪市の食材を活用したB級ご当地グルメを研究・開発し、全国にPRする。併せて「B-1グランプリ」への出場を目指す。	H23	松阪市、松阪市観光協会、商業者、関係団体
47	《 住 》	定期的な防災訓練の実施、災害時の対応に関する講習会の開催等を行う。	実施中	松阪市、自治会、住民
48		子どもの通学時の安全パトロールや夜間パトロール等を実施する。	実施中	自治会、住民
49		あいさつの実施や子どもへの声かけ等を実行する。	実施中	自治会、住民
50		清掃活動等を実施するとともに、ごみの収集方法やごみ置き場などを再検討し、地域の美化に努める。	実施中	松阪市、自治会、住民、商業者
51		住宅や店舗前の緑化やフラワーボットの設置等を推進する。	実施中	松阪市、自治会、住民、商業者
52		空地を活用してポケットパークの整備を検討する。	H23	松阪市
53		高町松江岩内線街路整備は、市のまちづくり事業との優先順位・財政状況を含めて検討する。	H22	松阪市
54		コミュニティバスの更なる利便性を図るため、共通回数券の発行、携帯時刻表を作成し、利用しやすい交通システムの充実を図る。	実施中	松阪市、運行事業者、関係団体
55		「住民協議会」の設立を促進し、コミュニティにおける住民自治の拡充を図る。	実施中	松阪市、自治会、住民、関係団体
56	《 駅 周 辺 》	「駅前広場のリニューアル」を図り、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。	H22	松阪市
57		松阪の魅力を発信する「(仮)松阪交流物産館」を開設する。	H22	松阪市
58		松阪駅西地区市街地再開発事業に関連する都市計画決定を外す。	実施中	松阪市
59		松阪駅周辺に存在する市有地の活用について、周辺の土地利用と合わせて再検討する。	H22	松阪市
60		松阪公園大口線の鎌田踏切のアンダーパス化を行う。	実施中	三重県

松阪まちなか再生プラン

『食』を感じよう！ 『歴史』を温めよう！！

そして、『人の心』をつなげよう！！！！

～ *Feel food Heat history and Link love* ～

平成 22 年 3 月

発行 松阪市

〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340-1

編集 松阪市建設部都市計画課 TEL 0598-53-4158

松阪市商工観光部商工観光課 TEL 0598-53-4361

松阪市教育委員会文化課 TEL 0598-53-4428